

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	②	地域で互いに助け合って地域を守る「共助」の推進

事業名	自主防災組織活動支援事業	担当課名	危機管理課
-----	--------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域住民によって構成される自主防災組織の結成や、その活動に対して支援を行い、平常時より近隣住民が相互の地域の災害対策上の課題や災害に関する知識・技能を共有することで、地域防災力の向上を図る。
(事業概要等)
<p>・自主防災組織活動の活性促進のため、自主防災組織連絡協議会及び各自主防災組織の実施する防災対策事業や防災訓練に対し活動補助を行う。  <b>【補助金額】</b>補助対象経費の2分の1の額とし、年間30,000円を限度とする。</p> <p>・自主防災組織が未結成の地域に対し、結成促進のため設置時の支援補助として、防災活動に必要な防災資機材を提供することにより行う。  <b>【補助金額】</b>自主防災組織に参加している世帯数に応じた額とする。</p> <p>①100世帯未満は20万円を限度とする。②100世帯以上300世帯未満は30万円を限度とする。③300世帯以上500世帯未満は50万円を限度とする。④500世帯以上は70万円を限度とする。</p>

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	787	976	2,672	1,400	
うち市負担分(千円)			700		

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
自主防災組織新規設置数	組織	0	1	0	1
自主防災組織研修参加人数	人	658	585	139	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自主防災組織の活動に対して支援を行うことにより地域防災力の向上が図られた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成27年度から、各組織の活動の活発化や自主防災力を強化させるため、補助対象内容と金額を拡充している。 また、平成30年度から、自主防災組織連絡協議会の活動の充実を図るため、活動支援補助金を拡充している。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	活動が停滞している自主防災組織が見受けられ、各組織の活動の活性化や充実を図ることが課題となっている。また、コロナ禍において、大人数の研修等の実施が困難なため、非接触でも実現可能な出前講座の構築が必要となっている。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 災害による被害を軽減するためには、地域住民による災害初期の円滑な防災活動が重要であり、地域のつながりが大きな力となるため。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	②	地域で互いに助け合って地域を守る「共助」の推進

事業名	防災訓練事業	担当課名	危機管理課
-----	--------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
訓練を通じ、住民、自主防災組織、防災関係機関、行政機関等それぞれの災害対応力の強化と相互の協力体制を確立するとともに、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図る。
(事業概要等)
津波避難訓練、総合防災訓練、図上訓練を実施し、災害への脆弱性を把握し、災害への対処方法を学ぶ。

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	465	576	410	1,166	
うち市負担分(千円)				616	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
防災訓練参加人数	人	3,585	3,734	205	300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
大地震発生等による大規模災害への対応を、市民、自主防災組織、防災関係機関、行政機関、民間企業等が実践的な訓練を行うことにより、それぞれの災害対応力の強化と相互の協力体制の確立が図れ、地域の防災力向上と市民の防災意識の高揚に重要な役割を果たしている。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	これまで行ってきた防災関係機関等による「見せる訓練」から、子どもを含めた地域住民が「体験できる訓練」に訓練内容を再考し、平成27年度から小学校区ごとに分けて地域防災訓練を実施している。令和元年度は、5年に1度の総合防災訓練を実施。令和2年度は、上條校区・戎校区において、コロナ禍における避難所開設運営訓練を実施。3月には、避難所混雑状況可視化システムを活用し、オンラインでの避難所確認訓練を実施した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	防災訓練への参加者(自主防災組織など地域住民)が、固定化・減少傾向にあり、特に子どもやその親世代の参加が少ない。 また、コロナ禍において大人数での実働型訓練の実施が困難なため、非接触型による訓練等、訓練内容の変更が必要となっている。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 防災に関する知識や技能を蓄積し、災害時でも迅速・的確に行動できるよう、訓練の積み重ねが重要である。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	⑤	セーフコミュニティ活動の推進

事業名	セーフコミュニティ事業	担当課名	危機管理課
-----	-------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市における安全・安心に関する状況を把握し、地域や行政などが一緒になって取り組むセーフコミュニティ活動を通じて、地域コミュニティの活性化や、より安全で安心して暮らすことのできるまちをめざす。
(事業概要等)
「多くの事故や犯罪、自殺などが原因となる死亡やけがは偶然の結果ではなく、予防できる。」との考えに基づき、安全・安心なまちをめざして、市民や地域団体、関係行政機関など分野の垣根を越えたセーフコミュニティ推進体制を構築し、地域診断より明らかになった本市の重点分野(交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺予防、犯罪防止、災害安全)において課題を設定、取組みを行うなど安全の向上を図る。

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,956	2,251	884	4,177	
うち市負担分(千円)	753	39	19	58	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
対策委員会開催回数(のべ回数)	回	27	24	5	6
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
分野別対策委員会等では様々な分野から委員が参画し、それぞれの知識や経験も交えて活発に議論が行われており、委員間で地域の安全・安心に関する課題や目標の共有が図られるとともに、課題に対する具体的な取組みも協力しながら展開され、安全・安心なまちづくりに寄与している。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特になし
--------	------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	SC活動は、地域の課題に応じた協働の取組みであることから、広く安全・安心のまちづくりを推進するために、分野別対策委員会で行っている具体的な取組み等の周知を図り、認知度を向上させることが課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により対面方式での会議等が難しくなっている。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の対面方式での会議や啓発活動が難しく、会議を書面開催、啓発方法を非対面式にするなどしているが、今後も活動方法については工夫していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	